参考様式B3(自己評価等関係)

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 24 日

事業所名　風の子びれっじ空Kuu　保護者等数(児童数) 27　回収数 18　割合 66.6 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3				構造化で分かりやすいスペースづくりを進めている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18					基準上の職員を配置。より専門性を高めるため研修を整備していく。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	8			あまり細かく見ていないのでわからないだけです。	入口付近に段差があり必要あればスロープを準備する。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0				本人とのお話し、モニタリング面談、学校からもご意見を頂き作成を進めている。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	1				活動の選択機会をつくっている。活動内でも、メイン内容を数カ月おきに変更している。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	5				地域交流イベントを実施して地域の方と交流する機会をつくっている。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				記録や予定表にてお伝えしているが、より分かりやすく記入や説明をしていく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1				送迎時や記録以外でも課題や様子等お話しする機会をつくっていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1				早めに日程を調整して、面談機会を増やしていいく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	5	2			茶話会を実施しているが、今年度開催が少なく、来年度年間で予定をお伝えしていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2				再度周知を行っていく。ご意見を頂きやすい環境をつくっていく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2				コミュニケーション方法の確認、ツール等使用している。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1				社内・事業所おたよりで情報を発信している。SNSでの情報発信を進めている。
	14	個人情報に十分注意しているか	18					管理方法の見直し、画像可否の確認等進め徹底していく。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2				再度周知を行っていく。変更時は書面でお伝えする。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18					月1回の避難訓練に加え、専門機関との訓練も実施していく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1				一番に楽しみを感じて頂けるように、本人の意思を確認しながら支援を進めていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	18					今後も皆様に満足して頂けるよう、本人の強みを生かした支援を進めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。